

Hyper Genius Method Core1

オリエンテーション

一社) みんな天才化機構

2018年12月20日

作成者: 理事長 深川英里

Hyper Genius Method Core1

オリエンテーション

自分のタイプ-6 マトリクス

【五感を使った学び】

人間は視覚・聴覚・味覚・嗅覚・体感覚といった五感を通して、外の世界のさまざまな情報を脳内に取り込みます。五感は情報入力経路なのです。

学校では目や耳を使って学習する場面が多くなっていて、体を使って学習するということはあまりありませんね。味覚や嗅覚を使った学習というものもあり、香水の調香師やワインソムリエ等がその例です。また、味覚や香りを使って情報を紐づける記憶法もあります。

【自分のタイプを知ろう】

情報を脳内に取り込む際に、視覚が優位な人、聴覚が優位な人、体の感覚が優位な人など、人にはそれぞれタイプがあります。

たとえば聴覚優位な人は、電話で道案内を聞いて理解できます。ところが視覚が優位な人は道案内を聞いただけでは今一步理解できません。「地図が見たい」と思います。体感覚が優位な人は、「その場に連れて行ってほしい」と思う人が多いようです。

学校では学習に聴覚や視覚を使う場面が多く、体を使って学習するということはあまりありません。聴覚優位・視覚優位な子どもたちは心配ないのですが、体感覚優位な子どもたちは授業中に髪の毛をいじったり、体でリズムをとったり、なにかを触っていたり、ペン回しをしたりと、なかなかじっとしてられません。この子どもたちは気が散っているのではなくて、集中しようとしているのです。体感覚優位な子どもたちは集中するときに体が動いてしまうというのを親も先生も知らなければなりません。

こういったことを知らない先生も多く、聴覚優位な生徒が聞きながら理解しようとしているところに「しっかりノートをとりなさい。」と指示すると途端に成績が落ちてしまったり、ビジュアル素材を作り込む先生の授業は視覚優位な生徒は良く理解できますが、音声での説明が少ない場合は聴覚優位な生徒には理解が難しい場合があります。

体感覚が優位なお子さんは何か手触りの良いものを触りながら学習するというような工夫も必要です。

このように自分がどのタイプなのか、を知ると効率よく学習を進めることができます。



【メインの入力経路・サブの入力経路】

また、メインになる入力経路とサブになる入力経路があります。

視覚優位で聴覚がサブの人、視覚優位で体感覚がサブの人など、次の6タイプに分かれます。

メイン	サブ
視覚	聴覚
視覚	体感覚
聴覚	視覚
聴覚	体感覚
体感覚	視覚
体感覚	聴覚

この表の一番下の体感覚がメインで聴覚がサブの人は非常にスポーツが得意な方が多いです。考え込む必要はありませんが、自分がどのタイプか少し考えながらこのトレーニングを受講してください。

【まずは耳から】

みんな天才化機構では、まず耳からの入力経路を拡張する事をお勧めしています。赤ちゃんはお母さんのお腹の中にいるとき、すでに耳は聞こえているようです。そして生まれてから目が見えるようになり、1歳前後で言葉らしき声を発するようになり、文字がかけられるようになるのは6歳位で、ずいぶん後になってからです。

この発達の順序に沿ってトレーニングを進めます。

これと真逆の進め方をしているのが、学校での英語教育です。

音声教材を殆ど聞く事なく文字から教えますので、英語を自分の言語として獲得できる人は多くはありません。成長の段階を正確に踏襲することが大切だと私たちは考えています。

【二モの法則】

今後、このトレーニングをしていくうちに非常に多くの知識を得ていくことになります。もちろんその知識は自分のための知識なのですが、自分の身近な誰かにも、世の中の見知らぬ誰かにも役に立てられるようにと意識すると、非常に深い学びが得られます。

これを「二モの法則」といいます。わたしニモ、あなたニモ。

知識は得るだけでは宝の持ち腐れです。

新しい知識を得たら、しっかりとアウトプットしていきましょう。

何にフォーカスするかで人生の質が変わる

【スコトーマ】

スコトーマとは目の病気のことです。そこから人間が見えていないもの、盲点を表す言葉になりました。

人は見ようと意識していないものは見えていません。

そのため新しいことを学んでいく過程で認知の歪みができてしまいます。

試しに、今、あなたのスマートフォンか腕時計を今すぐしまってください。そして、あなたのスマートフォンの画面がどうなっているか、絵に描いてみてください。時計の針や文字盤がどんな様子をしているか絵に描いてみてください。

どうですか？ちゃんと描けましたか？

一日に何度も見ているのに、ちゃんと描けないのです。

新しいことを学ぶ時、自分は何のために学んでいるのかに、きちんとフォーカスする必要があります。そうしなければせっかく学んでいても何も得られなくなってしまいます。



【あなたの人生の目標・目的は？】

これを長い人生に置き換えて考えてみてください。

自分はどんな人生を歩みたいのか、人生の目的は何なのかにフォーカスを向けていないと、気がついたら自分の思いとは別の方向に歩いてしまいます。

現代は情報過多の時代といわれています。テレビなどはどんどん人に必要のない情報を投げかけてきます。人は情報過多だとフォーカス力は弱まってしまい、いつの間にかどんな人生を歩みたいのかをわすれてしまいます。自分の人生の質を高めるために何にフォーカスするのか具体的にする必要があります。

いきなり人生の質などと言われても、なかなか難しいですよね。簡単なフォーカストレーニングを積み重ねると自分に必要な情報がオートマチックに自分の視界に飛び込んで来るようになり、望む人生を歩めるようになります。

まずは今日からフォーカスの訓練をしましょう。

訓練の方法については別途ご説明します。



HGM トレーニングで脳とマインドをトレーニングして新しい人生への扉が大きく開く事を願っています。